

悪臭や汚染から、環境に優しい町へ

桜丘小学校6年 永松、楠田、村岡、佐野

1. 提案のきっかけ

自分達の町のネコに手術などを受けさせずに餌を手
にあげている人がいて、のいわくを分けずがある。

残餌から悪臭や害虫が発生したり、カラスやハト
が増加して他の地域からの野良猫流入や
それによる繁殖を招く可能性がある。

そのせいで環境汚染を引き起こすこともある。

猫達にとっても環境にとっても悪く、直してほしい
と思っている。

以上の事から私たちのグループは

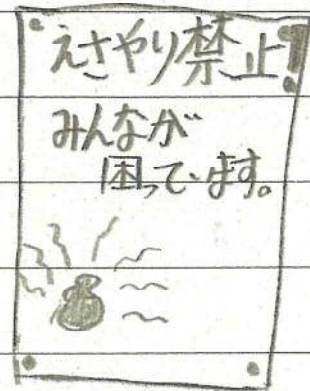
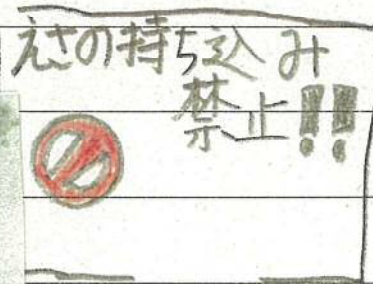
次の二つの提案をする。

2. 提案

(1) 公園の入口や入口付近に誰でも目に入るような看板を作る。

これを実現すると、普段エサをあげている人でもポスターや看板が目に入りやめてくれるという事になり、環境汚染対策にもつながる。このような効果からポスターや看板をはる事を提案する。

今の看板
↓
(例)



(2) 子供達の方直々に注意してもらったための呼びかけ。子供達も一度注意したことはあるのですが、それでもやめないため大人の人から言、て注意してほしいという事だ。子供達からの注意より大人から真剣に注意してもらった方がいいと考えるからである。

3.まとめ

このように野良猫や野良犬にえさをやっていたる人を放置すると猫が増え、糞尿の数も増え、異常な匂いに悩まされると考へる。さらに、猫の数が増加すると公園におさまりきらず、他の人の物の破損にもつなげると考へられる。だから、環境のためにも、猫をどうにかしてほしいと思う。